



しこく



We Serve

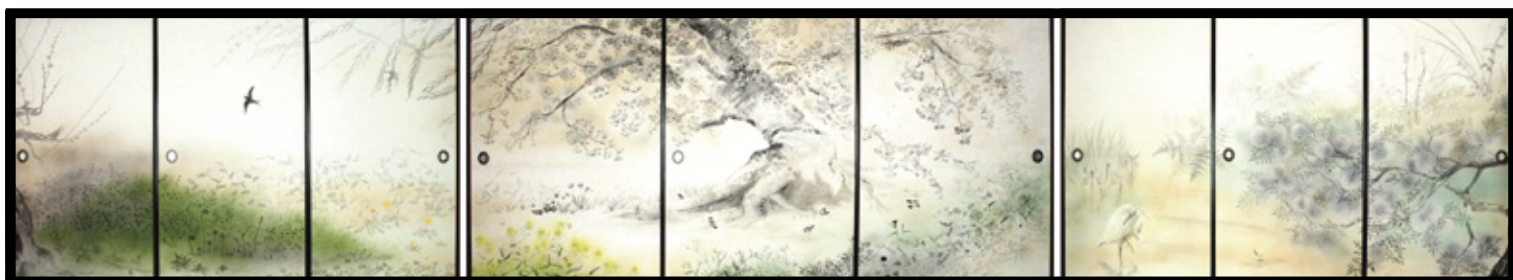
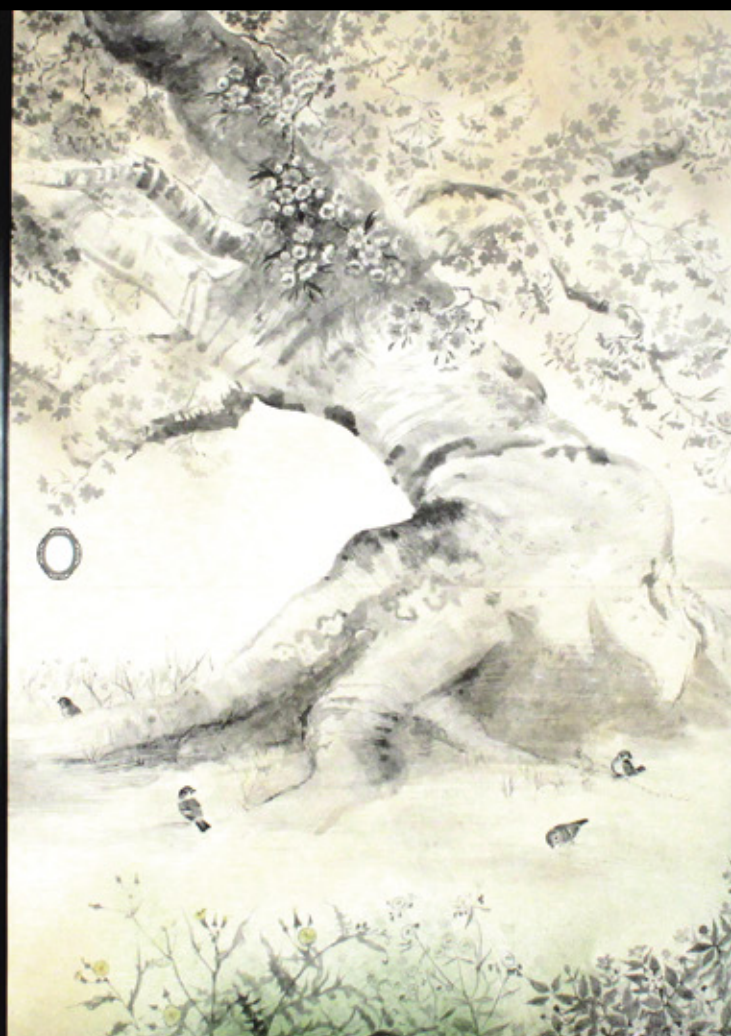
District 336-A of Lions Clubs International Association

10・11・12

No.2

2014.第88号

平成26年11月1日発行



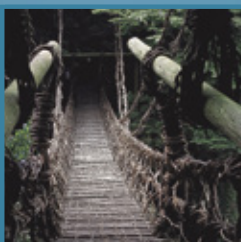


ライオンズクラブ国際協会336-A



第61回

地区年次大会 徳島大会



阿波の徳島

来_マ見_マ食_マべ_マ

みんなで浮かれてみまへんか



日時

2015年 **4/11(土)・12(日)**

会場

- 日韓親善国際交流のタベ／徳島グランヴィリオホテル
- 記念ゴルフ大会／サンピアゴルフクラブ
徳島カントリークラブ月の宮コース
眉山カントリークラブ
- 指名選挙・代議員分科会・代議員総会／アスティとくしま
- 大会式典／アスティとくしま
- ガバナー晩餐会／アスティとくしま

◆登録のご案内

予備登録締切日
2014年**12月20日(土)**

本登録締切日
2015年 **2月21日(土)**

■ 地区年次大会事務局

〒770-0944 徳島県徳島市南昭和町1丁目23
三谷第一ビル
TEL (088)611-7220
FAX (088)654-2075
E-mail: 61taikai@stannet.ne.jp



We Serve

2014~2015年

ライオンズクラブ国際協会

336-A地区 徳島キャビネット

〒779-0105 徳島県板野郡板野町大寺字王子111-2

TEL (088)637-5011

FAX (088)637-5012

E-mail: lc336a-tokusima@iaa.itkeeper.ne.jp



336-A地区149クラブの皆様
ありがとうございました。

新たな気持ちで We Serve 誇りを高める

Strengthen the PRIDE

8月から9月にかけて行われたガバナー公式訪問は9月20日3Rを最後に終わりました。公式訪問開催に当たっては各リジョンチェアパーソン又各ゾーンチェアパーソンの皆様の懇切丁寧な企画のもとに行われました。見事な演出により参加者全員の拍手で私達キャビネット一同は迎えられ、まさに厳粛そのものでありました。

ガバナー公式訪問は、ガバナーの方針を各クラブ会長さんが理解をされ、そして各クラブ会長さんの抱負や要望などをガバナーが受け入れることにあるわけであります。

本年度のガバナーズローガンは「新たな気持ちで We Serve」であります。336-A地区大半のクラブが従来のマンネリ化から脱して「新たな気持ち」でもってこの一年間の取り組みを表明され共鳴頂いていることに力強さを感じる次第であります。本当にありがとうございます。

国際会長ジョー・プレストンは「奉仕」「会員増強」「クラブ結成強化」「リーダーシップ育成」「独創力」「パートナーシップ」「決意刷新」「勇気そして信念」の9つに亘って誇りを高めて下さい。と申されております。私も「誇り高

地区ガバナー公式訪問を終えて
ライオンズクラブの
発展を感じて
地区ガバナー
木内 千春



Contents

表紙2 ガバナー公式訪問を終えて

- 1 ガバナー公式訪問を終えて・Contents
- 2 元国際理事 武久一郎 追悼文
- 4 ガバナー公式訪問
- 8 災害被災者支援内容状況
- 9 各クラブアクティビティ紹介
- 18 日韓交流事業
- 20 クラブ紹介 高知桜LC
- 21 クラブ紹介 高知とさみずきLC
- 22 委員会報告 YCE・国際関係委員会
- 24 委員会報告 ライオンズクエスト特別委員会
- 29 委員会報告 IT特別委員会
- 30 委員会報告 環境保全・保健福祉・アラート委員会
- 31 委員会報告 ライオンズレオ特別委員会
- 32 336-A地区会員現況

表紙3 物故者の報告・編集後記

裏表紙 第61回地区年次大会のお知らせ

- 表紙 神楽四季草木図
- 作 中村達志
- 所有 梶本神社

きライオンになろう」事大主義でもなく形式主義でもなく
昂揚感を持った人としての生き方、貴方に対して何が出来
ますか。何かお役に立つことが出来ますか。この気持を持つ
て皆様と一緒に一年を過ごしたいという思いということをも
各リジョン単位で申して参りました。

徳島8R9R・香川4R（高松）5R（観音寺）6R（四万十）
7R（高知）2R（今治）1R（松山）3R（大州）で行われまし
た。大体、リジョンに百名近い会員が集まって下さっており
ましたが、1Rだけは1クラブ10名集まり187名の会員
のもとで開催されました。

私はこれから先のライオンズクラブの発展を感じずには
られませんでした。

追悼

武久一郎国際理事を偲んで

ライオンズ歴

- 1978～1979 第三副会長
- 1979～1980 第一副会長
- 1980～1981 クラブ会長
- 1984～1985 複合大会副委員長
- 1985～1987 クラブ理事
- 1991～1993 クラブ理事
- 1994～1995 5R-2ZC
- 1995～1996 会員理事
- 2001～2002 5R-RC
- 2004～2006 クラブ理事
- 2008～2009 336-A地区・副地区ガバナー
- 2009～2010 336-A地区・地区ガバナー
- 2010～2011 336複合地区ガバナー協議会議長
- 2011～2012 336複合地区東日本大震災支援委員会顧問
- 2012～2014 ライオンズクラブ国際協会国際理事

主なアワード

国際会長感謝状受賞／メルビン・ジョーンズ・プログレス・フェロー 17回／ライオンズクラブ国際協会年間会員増強プログラム 銅賞／10メンバーキー賞／地区年次大会出席努力賞 20回



武久 一郎

1934年7月10日生

所属

336-A地区8R-2Z
徳島城山ライオンズクラブ

1977年2月6日 入会
(チャーターメンバー・37年在籍)



元地区ガバナー・地区名誉顧問
336複合地区・
武久一郎国際理事支援委員会

委員長

山地 章靖

(坂出白峰ライオンズクラブ)

武久一郎国際理事の訃報は突然に
来ました。

6月22日に倒れて病院に救急搬送
された旨の連絡を受け、只々無事の
回復を祈っていた矢先、6月26日午後
4時5分、帰らぬ人となりましたとの
知らせが追って入りました。

5月にお会いしたのが最後で、任期
満了を前にした最後の国際理事会に
出席のためカナダに出発する前日であ
ったと聞きました。

私が武久理事との出会いは、私のキ
ャビネットで副地区ガバナーに就任さ

れた2008年に始まり、以来、地区ガ
バナーに就任、その翌年に私の後に33
6複合地区ガバナー協議会議長に就任
され共に仕事をしたご縁は非常に深いも
のになりました。

国際理事の候補者に決まった時は、一
も二もなく武久一郎国際理事候補者支
援委員長の役をお引き受けした次第で
あります。

私は委員長として日本全国のライオン
ズクラブに向けて国際理事候補者の支援
要請をした挨拶文に次のように武久理
事のことを紹介し発信しました。



「国際理事候補者武久一郎氏は、温厚なお人柄の中にも、強い信念と責任感を持ち、卓越した強いリーダーシップと、34余年に亘るライオンズ活動の中で養われた世界奉仕活動に対する見識は高く、国際理事として誠にふさわしい人物であります。必ずや、私たち日本ライオンズのリーダーとして、日本ライオンズの発展に貢献し、活躍されることと確信しております」と。

発信の後は、全国キャンペーンであります。北のMD331北海道から南のMD337九州までを1か月余りかけ、立候補の挨拶と国際大会での代議員の投票依頼のため、候補者と一緒に訪問して回りました。殆どの場合日帰り行程での強行軍でした。

その中でも、MD331訪問で札幌市に行ったのが11月21日、今冬初めての大雪に出会い、そして翌々日11月23日よりOSEALフォーラム参加のため訪問したマニラでは気温32度と、この気温の差に驚きながらも、その時武久理事は元気に会期中に開催される諸会議に精力的に臨み、コーカスミーティングに於いて東洋東南アジア地域の推薦候補となり英語でスピーチしておられた姿

を、今も鮮明に記憶しております。

応援団長として行動を共にしてきた3年間、お陰で貴重な体験をさせていただき、OSEALフォーラムに続き釜山の国際大会での投票・インターナショナルパレード・閉会式における国際理事就任式に至るまでの色々な出来事が走馬灯の如く思い起こされてきます。

就任してからの武久理事は、私が全国に紹介し発信した通りのお姿で、正に八面六臂のご活躍をなさいまして、私は深甚なる敬意を持って常に接しておりました。

武久理事がこれまで築いて来た功績の数々は永久に消えることはありません。

今年7月の国際大会で任期を終え、多忙を極めた役職から少しはご自分の時間も持てるようになり、あれこれと退任後の構想をお考えになっておられたとお伺いしました。私達は日本ライオンズの最高の指導者として活躍されることを期待していた矢先であり、誠に無念であり残念です。

私達も、武久理事の遺志を引き継ぎライオンズクラブそして地区の更なる発展のため邁進する覚悟であります。

本当にお疲れ様でした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



336—A地区ガバナ—

木内 千春

私は武久一郎国際理事に過ぎし日の二年間に各種会議に同席させて頂きお元気なお姿でご指導を頂いて参りましたのに突然の事に平成26年6月26日午後4時5分帰らぬ人となられ、「お別れ会」が7月21日徳島市内の「ホテルクレメント徳島」にて開催されました。当日は4階大広間一杯の参列者が入りきれなくて会場の外側も埋め尽くされました。千数百名の長蛇の人の列でありました。

「お別れの会」はライオンズクラブ国際協会のみならず「公益社団法人全国認知症グループホーム協会」「公益社団法人徳島の盲導犬を育てる会」「社会福祉法人光風会」との合同開催をされました。

お別れの会実行委員長の元国際理事谷野徹氏の開会のことばで始まり、全員で黙とうをして故人を偲んだ。徳島県知事飯泉嘉門氏を始め各界の10名に及んだ人々が親しみを込めて在りし日

の故人との関わりを述べられ、国際理事清水永徳氏より「東日本大震災や世界中の恵まれない人々に深く心を寄せられた事」また「ライオンズクラブ国際協会の活性化に向けて心血を注いで取り組まれた事」等々、武久一郎国際理事が遺された数々の輝かしい功績が紹介されました。徳島県では元国際理事岡元大三氏に次いで国際理事であられた。

最後にご遺族を代表して、ご長男の武久長史氏より「多くの方々より父を惜しんで頂き、この偉大な父を誇りに思っております」との謝辞が述べられました。ホテル正面の祭壇に飾られた清々しいお花、思いやりの深いお人柄、参列者全員を包み込むような微笑み、79歳のご逝去とは思えぬ遺影であつたように思います。

私は今後ライオンズクラブの更なる飛躍・発展をお誓い致しました。

1リジョン

公式訪問を終えて
「アスク・ワン(二人誘おう)」

1R-RC 高岡 英治

今年の夏は、豪雨・洪水、今まで経験しなかった異常気象が336地区を襲いました。その最中のガバナー公式訪問も大変苦慮された事と思います。

1R-ガバナー公式訪問は、幸いにも、秋晴れの中、昨年と同じく奥道後ホテルでの開催となり、1R-19クラブ、194名でのお迎えとなりました。高岡英治1R-RCの先導により、橋本嘉胤副幹事(1R担当)が地区旗を掲げ、木内千春地区ガバナーを先頭に、橋本充好第一副地区ガバナー、真鍋隆第二副地区ガバナー、岩佐典秀幹事、東條昭二事務局長、地区常設委員長、副幹事の皆様が入場され、宮内浩四郎地区名誉顧問始め、役員、委員、各クラブ会長、役員、クラブ委員長が起立、拍手でお迎えをしました。

篠原1ZCの司会で進められ、開会宣言及びゴングの後、各役員、委員の紹介を吉田2ZC、各クラブ紹介を佐伯3ZCが



行ない、高岡1RCが、歓迎の挨拶を述べ、続いて宮内名誉顧問から、トロント国際大会でガバナーに就任され、様々な所で努められご活躍されておられると激励の挨拶があった。

木内地区ガバナーから、挨拶、運営基本方針が述べられ、特にMay I Help You、また、ジョー・ブレ斯顿国際会長の会員増強の取り組みの「アスク・ワン(二人誘おう)」について熱い思いを語られました。

引き続き、橋本第一副地区ガバナー、真鍋第二副地区ガバナーより挨拶があり、1R-19クラブの会長さんに木内ガバナーより、バナーを受け取り、ガバナーを真ん中にローアで写真撮影をしました。

地区委員長、地区委員からの要望があり、各クラブ会長の今期の方針・目標に対して、木内ガバナーから力強い言葉が述べられた。

有意義な時間を過ごし、時間内で終え、盛会裏に終えることが出来、1Rの皆様にご感謝申し上げます。

地区ガバナーの指揮のもとに、原点であるライオンズムの精神に返り、新たな気持ちで取り組んでまいります。



2リジョン

2R-RC 中村 倫浩

日時 平成26年9月13日(土)

午後3時より

場所 今治国際ホテル

(クリスタルホール)

右記日時場所に於いて、木内千春地区ガバナーの公式訪問が開催されました。

徳島キャビネットからは11名の役員、委員の方が遠路今治にお越しください、2R-17クラブからは会員104名が出席してお迎えいたしました。実に盛会でも有意義な公式訪問を行う事が出来ました。

西原透地区名誉顧問より歓迎の挨拶、木内千春地区ガバナーからはスローガン「新たな気持ちで」We Serve、キーワード「ヴィジョン共有」、運営基本方針11項目についてガバナーの考え、そして思いを説明していただきました。出席された会員の方もご理解され、今後実行し、誇り高き会員になろうと思われた事と思います。

橋本充好第一副地区ガバナー、真鍋隆第二副地区ガバナー御二人のご挨拶をいただきました。その後、要望事項並びに質疑応答に入り岩佐典秀キャビネット幹事の上手なまとめによりスムーズに進行しました。各地区委員からの要望も内容のあるものであり、最後に各クラブ会長に今年度の目標と抱負を語っていただきました。17クラブ会長のほとんどが前向きな発言をされ木内千春地区ガバナーも満足されたと思います。

終了してみましたら、時間もオーバー

1していましたが、今後のクラブ運営に弾みがつく有意義な時間を木内千春地区ガバナーを始めキャビネット役員、委員の皆様と共有することができ、貴重な訪問日になりました。また、2R役員、各クラブ会長他出席会員、当クラブのサポート委員、事務局員の皆様のご協力をいただき順調にガバナー公式訪問を終える事が出来ました。心よりお礼と感謝を申し上げます。





3リジョン

3R-RC 大氣 新平

2014年9月20日(土)晴れ。天候にも恵まれ、交流に重きを置いた3R地区ガバナー公式訪問が大洲「たる井」にて84名の参加を得て開催されました。

古森1ZCのスムーズな司会により、開会宣言から始まり例会方式に沿って肅々と進み、不肖の私、歓迎の挨拶で笑いを誘うこととなりましたが、西園寺地区名誉顧問の「ライオンズクラブとは？」の地区ガバナー激励のことは、木内地区ガバナーより「誇りを持つとう！ask one 一人が一人を誘おう」との地域への奉仕から始まるクラブ活性化への挨拶、橋本第1副地区ガバナーから会員増強のヒントとなる挨拶を頂き、3R-15クラブにやる気と元気を頂きました。公式訪問記念品の贈呈が行われ15クラブ会長が今期の活躍を誓うローアでしめて誇りある活気に満ちた会の始まりとなりました。

2部では、木内地区ガバナーより各クラブからの質問に一つずつ丁寧にお答えを頂きまして、今期の基本運営方針について説明を頂きました。続いて岩佐キャビネット幹事より諮問事項の中より3R-15クラブの特徴的な活動について丁寧な質問があり、各クラブ会長から誇りある説明がなされました。

貴重な質疑応答を終えて休憩を挟み各地区委員から今期の活動方針について具体例を交えながら発表があり、最後は各クラブ会長から今年度の目標と抱負発表となり20分の地区ガバナー

公式訪問を終了しました。50年後のライオンズクラブというヴィジョンを共有することができ3R各クラブの益々の活性化と活躍を確信する一日でありました。

公式訪問終了後の交流会は、役職毎にテーブルに別れて座り、3R-15クラブとキャビネットとの情報共有とひざを交えた交流の場となりました。これもひとえに木内地区ガバナーをはじめとしてキャビネットの皆様、そして3R地区役員・各クラブ皆様のご協力のおかげでありこの場をお借りして心より御礼申し上げます。



4リジョン

336地区4Rガバナー公式訪問に寄せて

4R-RC 内原 巧

今年の夏は大変に雨が多く降り8月31日(日)の4Rガバナー公式訪問を心配しておりました。何と朝からピカソ照りの良い天気です本当に良かったと思いました。

13時からの受付、総出席数102人で13・30から公式訪問が開かれRCの歓迎の挨拶に続いて、前地区ガバナー地区名誉顧問会議長の松前龍宗様から地区ガバナー激励の言葉を頂きました。又、木内千春地区ガバナーの「私は大変優しい男です。特に女性には大変優しいのです」との言葉から始まり、家族会員制度のことや広島県の災害支援、奉仕活動についていろいろとご指導を頂きました。次に第一副地区ガバナーの橋本 充好様、第二副地区ガバナーの真鍋 隆様からそれぞれに大変すばらしいご挨拶を頂きました。

公式訪問記念品の贈呈では、各22クラブ会長が前に出て一人ひとりにガバナー公式訪問バナーとガバナーピンを頂きました。要望事項並びに質疑応答、諮問事項では地区ガバナーの代わりキャビネット幹事の岩佐典秀様が進行され、各会長さん達もいろいろと勉強になったのではないのでしょうか。各地区委員からの要望が有り次に各クラブ会長の今年度の目標と抱負では、これからのアクティビティーの考え方や実行の仕方など熱心に発表し、厳粛な

式典が有意義なうちに終了しました。

次に全員で記念写真を撮り懇親会地区ガバナーを囲む会に移りました。地区名誉顧問の石川俊夫様の乾杯で始まり大変和やかな雰囲気でお酒が進みました、ライオンズローアに続いて「また会う日まで」を全員で合唱を行いました。その時地区ガバナー木内様が女性会員と手をつなぎ大変うれしそうな顔をしていたのが印象的でした。



5リジョン

5Rガバナー公式訪問

5R—RC 宇賀 寛

平成26年8月30日(土) 14時～19時
場所 観音寺グランドホテル
ホストクラブ 観音寺ライオンズクラブ

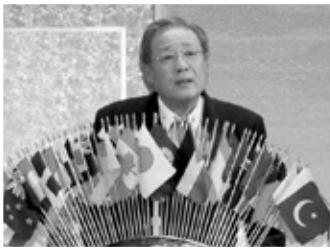
RC宇賀の先導により木内地区ガバナーと共にキャビネットの皆様8名が入場され、山地名誉顧問始め、地区役員、地区委員、各クラブ会長、役員、74名が起立と拍手でお迎えして所定の席に着かれた。

大島2ZCの司会にて、開会宣言及びゴングの後、国旗に敬礼、国歌斉唱、ライオンズクラブの歌斉唱と進められ、地区ガバナー並びに地区役員、地区委員の紹介と各クラブ出席者の紹介。その後、5RC宇賀にて銭形の町観音寺の紹介と歓迎の挨拶をさせて頂き、山地名誉顧問より激励の言葉を頂きました。

木内地区ガバナーからは地区ガバナーエレクトセミナーのお話や国際会長テーマ「誇りを高める」とガバナー・スローガン「新たな気持ちで」We Serve ガバナー・キーワード「ヴィジョン共有」の説明と共に御自身のライオンズ歴や基本方針等を細かに述べられた。

引き続き、橋本第一副地区ガバナー、真鍋第二副地区ガバナーの挨拶を頂き、公式訪問記念品の贈呈が各クラブ会長に手渡された。

続いて要望と質疑応答が岩佐キャビネット幹事より行われ、地区委員5名



より方針と要望説明がありました。5Rの13クラブ会長の今年度の目標と抱負説明と続き全ての議事を終えて閉会宣言及びゴングにて無事終了となりました。

続いて記念撮影、懇親会となりましたが和気あいあいのムードで皆様の笑顔で溢れ楽しい時間を過ごしましたこと、参加者の皆様の御協力とホストクラブの観音寺LCの皆さんに心より感謝を申し上げます。

5Rの団結力とレベルを改めて再確認するとともに336—A地区の総合力に乾杯です。

最後にライオンズローアを橋本第一副地区ガバナーより元気に頂き、観音寺中央LCの石川地区委員による指揮にて心一つにまとまりました事自信を持って報告させていただきます。各クラブの御発展と皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。

6リジョン

6R公式訪問について

6R—RC 吉名 征郎

今回の公式訪問は四万十市での開催となりました。6Rガバナー公式訪問が3Zで開催されるのは久しぶりの事があります。何分高知県の西の端の立地となりますため、キャビネットの皆様を始め会員の皆様も遠方となりましたが、各クラブより多くの参加をいただき主催する者としてありがたく感じました。

当日は3つのゾーンの諮問委員会・ゾーンレベル会員委員会もあり、それらを終えて、公式訪問は午後3時から開催となりました。会場である「新ロイヤルホテル四万十」の壇上には17のクラブ旗が結成順に整然と並べられ、緊張感と静粛の中、入場の合図に全員が起立。大きな拍手の中、木内ガバナーを先頭にキャビネット役員が入場し開催となりました。

木内ガバナーのスローガン「新たな気持ちで」We Serveには、日本にライオンズクラブが上陸して61年の歳月が経ち人間でいえば還暦にあたり、その意味も含まれており、又ライオンズクラブが本来の姿である地域のために奉仕活動をする、地域のために何が出来るか、地域のニーズに合ったウィ・サーブに力を注いでいたいただきたいという思いがあるとおっしゃられておりました。

その後、地区ガバナーよりクラブ三役への記念品贈呈がありました。続い



て地区コーディネーター及び各委員からの要望事項があり、最後に各クラブ会長の今年度の目標と抱負が発表され、和んだ雰囲気の中で終了となりました。

会議終了後の懇親会もリジョン内各クラブの交流の場となり、楽しいひと時に友愛と相互理解に大きな役割ができたと思います。

今回の公式訪問にあたり、各ZCの方々にはお世話になりました。又、四万十ライオンズクラブさんには会場の経費等で大変お世話になりました。何よりご足労をかけました関係事務員さんの力が大であることに改めて感謝を申し上げます。

7R-1・2・3Z地区
ガバナー公式訪問報告

7R-RC 酒井 公一

去る9月6日(土)高知プリンスホテルに於いて7Rガバナー公式訪問が行なわれ、同時に第一回ガバナー諮問委員会、ゾーンレベル会員委員会も行いました。

会議にはガバナー木内千春様・第一副地区ガバナー橋本充好様・第二副地区ガバナー真鍋隆様・地区名誉顧問長谷川憲男様・地区名誉顧問三谷智省様・地区名誉顧問宮地健三様・キャビネット幹事岩佐典秀様・ライオンズクエスト運営委員長北川渉様・キャビネット副幹事西木弘様・キャビネット事務局長東條昭二様、それにRC・ZC・地区役員、各クラブ会長・第一副会長・幹事・会計・会員理事の計86名でした。

RC先導で全員起立拍手で入場、物故会員に黙禱し式次第に添い議事が進行されました。木内ガバナー挨拶・会員の皆様例会はのびのびと会長の思うとおり楽しく進めて下さい、南海地震に備え尾崎知事と食糧の緊急援助の調印式を行った。橋本第一副地区ガバナー挨拶・木内ガバナーを補佐し来季に向かつて勉強する、皆様宜しくお願います。

真鍋第二副地区ガバナー挨拶・木内ガバナーの元しっかりと勉強したい。岩佐キャビネット幹事より①ガバナーは全クラブ訪問すべきであるが時間が足りないのでリジョン単位で訪問し皆

様と会話し指導する。②会員増強の要請③4月12日の地区年次大会への参加要請④前夜祭日韓交流の夕べ出席と東洋東南アジアライオンズフォーラムへの出席要請があった。

東條事務局長より 336-A地区149クラブの内地区費未納が40クラブあるので納入して下さい。三谷名誉顧問より、現在は次期橋本ガバナーの補佐役、先の台風11、12号の災害援助金100万円がLCIFより降りしました。6、7リジョンでLCIFの拠出金0のクラブが3クラブあるのでは非協力をお願いします。等々の挨拶、要望がありました。又会員から脱法ハーブの取り扱いなどの様に考えているか質問があり薬物乱用防止推進協議会・「ぜったいだめ」運動で取り組んでいる、との回答があった。

今年度会長の目標と抱負はガバナー公式訪問議事録に掲載しています。

懇親会では木内ガバナー・橋本次期ガバナーの今後の活躍を祈念し、川添清、東條節子各ライオンによる祝吟が吟じられ、ガバナーと身近に接し親睦を深める事が出来ました。

役員各位、事務局員の方、当ホテルの皆様大変お疲れ様でした、本当に有難うございました。



8R-RC 阿部 幸市

平成26年8月3日(日)336-A地区8R地区ガバナー公式訪問十三時三十分 徳島城山ライオンズクラブ会長 柚友貞信の司会進行、8R-RC阿部幸市の先導により、地区ガバナー木内千春氏、第一副地区ガバナー橋本充好氏、第二副地区ガバナー真鍋隆氏、地区名誉顧問荒瀬孝之氏を始めとするキャビネット役員8名の方々がご入場。出席者87名全員起立のうえ拍手でお迎えしました。役員全員が所定の席に着かれた後、城山ライオンズクラブの幹事新居良之より役員、委員、各クラブ会長の紹介をさせていただきました。

開会宣言、国歌斉唱、8R-RC阿部幸市による歓迎の挨拶の後、地区ガバナー木内千春氏にご挨拶を頂きました。本年度基本方針説明やガバナー研修会時の話等有益なお話を伺うことができました。

また、地区キャビネット幹事岩佐典秀氏からは、徳島キャビネットの考え方等についての詳細なご説明をいただき、各クラブ役員の皆様にもよくご理解いただけたことと思います。

最後に各クラブの会長より今年度の目標と抱負の発表をいただき、今回の公式訪問は無事に終了致しました。

最後になりましたが、キャビネット並びに8Rの皆様にはいろいろとご協力をいただきましたことにありがとうございます。心よりお礼申し上げます。本行事の報告とさせていただきます。



9リジョン

会員増をリジョンをあげて
最大目標に掲げ取り組もう

9 R R C 坂東 照伸

ガバナー公式訪問は、2014年8月2日徳島市阿波光ホテルにおいて開催された。会場には、国際会長ジョー・プレストンのテーマ「誇りを高める」木内千春336-A地区ガバナースローガン「新たな気持ちで」ウイサーブが大きく掲げられていた。

坂東照伸リゾンチェアパーソンの先導で、木内千春地区ガバナー初め7名のキャビネット役員が入場された。公式訪問のトップは、9 R R Cの歓迎の挨拶で始まった。次いで、元地区ガバナー激励の言葉がありました。激励の言葉は、地区名誉問荒瀬孝之様から温かい力強い激励の言葉がありました。続いて、木内千春地区ガバナーの挨拶がありました。

木内千春ガバナーは、次のように述べられました。「私は、第97回ライオンズクラブ国際協会世界大会がカナダ・トロント市に於いて開催されました。大会最終日の総会に於いて国際会長ジョー・プレストンより336-A地区ガバナーに任命されました。名誉なことに感謝しています。これも一重に皆様方のご支援ご厚情の賜ものと心より厚くお礼申し上げます。

徳島キャビネット構成員の皆様とともに、ライオンズムのさらなる高揚と336-A地区全クラブ員の発展の為に精進することをお誓い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。ご協力、ご支援よろしくお致します。」とのご挨拶がありました。

続いて、副地区ガバナー挨拶がありました。最初は第一副地区ガバナー橋本充好様、続いて第二副地区ガバナー真鍋隆

様から激励の挨拶がありました。次に、公式訪問のメイン行事であります記念品贈呈に移りました。これはガバナーによって各クラブ会長に贈られる記念品の贈呈であります。

ここで、休憩にはいりました。そして緊張と疲れから少し解放されました。会議は再開されました。そして、キャビネットに対する要望事項並びに質疑応答に移りました。特に、大きな問題提起はありませんでした。

次に、各地区委員からの要望に移りました。各地区委員はそれぞれの立場に立って、15クラブの会長、副会長、幹事、会計、会員理事に語りかけられました。参加者は、熱心に耳を傾けられて、メモをしながら意欲的な姿勢が多く見受けられ頼もしく感じました。公式訪問の最終段階を迎えて、各クラブ会長の今年の目標と抱負になりました。9リジョンには、1Z(7クラブ)・2Z(3クラブ)・3Z(5クラブ)が活動をしております。「会員増強は急務であり、例年以上に活動している」「今こそ新たな気持ちで、みんなで力を合わせて」という点から同じ気持ちで取り組むたい15人の会長に流れている思いは、クラブを大きくしたい。会員増を実現したいという願いと思いに、うち満ちていました。

木内ガバナーは申されました。二年が終わった時、この一年は楽しかったなあ。面白かったなあという感慨に包まれる二年にしたいものだと思えます。

このガバナーの思い・願いが実現できるように微力を尽くしたいと心に誓っています。



336-A地区内LCの災害被災者支援内容状況(調査対象:2014年7月1日～9月30日)

義援金等支援実施LC名			災害発生日	災害発生場所	被害状況	義援金給付等の内容		
R	Z	LC名				給付日	相手方・受入機関	給付額
1	1	松山ホストLC	2014年 8月20日	広島市安佐南区・ 安佐北区	大規模土砂崩れ	2014年 9月18日	広島LC	50,000円
9	1	藍住LC	2014年 8月10日	徳島県那賀郡那賀町	浸水被害	2014年 8月22日	那賀町	240,000円
1	1	松山城山LC	2014年 8月20日	広島市安佐南区・ 安佐北区	土砂崩れ	2014年 10月末	(平成26年広島県大雨災害 義捐金)日本赤十字社	150,000円
8	1	阿南LC	2014年 8月8日	阿南市内	中川氾濫による浸水被害、 孤立施設発生	2014年 8月21日	阿南市	200,000円
4	2	高松中央LC	2011年 3月11日	東北地方	東日本大震災	2014年 10月予定	一関中央LC	300,000円

人的支援実施LC名			災害発生日	災害発生場所	被害状況	人的支援の内容			
R	Z	LC名				支援日・ 支援期間	相手方・ 受入機関	活動内容及び 延日数	クラブ負担内容 (派遣者の交通費、宿泊費、 作業手袋等)
5	2	こんびらLC	2011年 3月11日	宮城県南三陸町	津波被害 (ほぼ全戸崩壊)	2014年 8月3日 ～ 5日	南三陸 町志津 川LC、 志津川 小学校	夏休みに志津川小学校生徒・父兄を招待し地元小学生と交流ツアー。2泊3日。30人×3日=90人日	運賃、ホテル、キャンプファイヤー費、土産など
4	1	高松葵LC	2014年 8月20日	広島市安佐南区・ 安佐北区	大規模土砂崩れ	2014年 8月27日 ～ 29日	スーパーボランティア	会員と社員1名が重機持ち込みによる「土砂撤去作業」2人×3日=6人日	無し



1R〜3R 各クラブ アクティビティ 紹介

55年目を迎えた『第55回肢体不自由児居島ふれあいキャンプ』

1R-1Z

松山ホストライオンズクラブ
平成26年8月2日(土)〜8月4日(月)
の2泊3日にて開催
松山市の沖合(瀬戸内海)に浮かぶ小島
で、2014しまのわ学校文化祭in興



居島の会場

目的…肢体不自由児の自立支援、地域

ボランティア育成支援

メインカリキュラム

海水浴(肢体不自由児の海水への慣れ
や楽しみ体験等)クラブ会員で料理を
振る舞う夜店の出店(地元島民との交
流を兼ねる)松山港花火大会の観覧(四
国本土からとは違った見方が出来る)
その他、地元への植樹(紫陽花)や地元
体育館(廃校)にてスポーツ大会

以上、地元島民も含めて参加者全員で
のふれあいを楽しんでおります。

毎年の感想であるが、色々な条件や急
な変更に関わらず、無事終えた事に感
謝・感謝

きららの森の育成

1R-1Z

久万ライオンズクラブ

自然との共生を目指し、「きららの森
育成」を継続している本クラブは、4
年前より「芝桜街道整備」に取り組んで



います。春から秋にかけて、2か月に
1度、植苗や草取りを行い、毎年見事
な景観を実現しています。

「第23回

松山市小中学生相撲大会」

1R-1Z

松山東ライオンズクラブ

場所…愛媛県総合運動公園
常設相撲場

7月6日(日)松山市相撲連盟と松山

東ライオンズクラブ共催で、奉仕事業
として少年の
健全育成と相
撲道の礼節の
尊さを学び、
心身を鍛える
ため、小中学
生140名の
選手が参加
し、元気はつ
らつ手に汗握
る戦いを展開
した。



「あわてんぼうの

サンタクロース」

1R-1Z

砥部ライオンズクラブ

町内、約600名の幼稚園・保育所
の子供たちとプレゼント交換会。町内
全域にクラブPR誌で使用済み切手収
集の主旨説明、協力を呼びかけ。保護
者、先生方の協力のもと、子供たちが

集める。12月初め、ドキドキのサンタ
さん気分でライオンズサンタと楽しい
プレゼント
の交換です。



「第10回語り伝えたい美しい

日本語暗唱コンテスト募集」

1R-1Z

松山つばきライオンズクラブ

事業要項

1 優れた古典および現代文学や詩、ま
た落語や民謡などの作品のなかから
自由に選び、一人の持ち時間を4分
以内として暗唱する。

2 子どもの部と大人の部をそれぞれに
公募し、2部構成でコンテストを実
施する。

3 世代間の積極的交流を図り、地域の
大人と子
どもの新
たな交流
の場とす
る。



チャリティーパレード サンタ・チャレンジ

1 R 1 Z

事業要項

松山城山ライオンズクラブ

参加者全員サンタクロースになり、チャレンジする(障がいがかかえる)子ども達へクリスマス・プレゼントを(※しげのぶ特別支援学校へ)贈るチャリティーパレード「サンタ・チャレンジ」を主催。第2回は2014年12月7日(日)開催。



松山少年少女合唱団

1 R 2 Z

松山道後ライオンズクラブ

松山道後ライオンズクラブは、松山少年少女合唱団発足当初(昭和39年5月)から子供たちの天使の歌声がいつまでも引き継がれていくようにと期待を込めて活動を支援しています。夏休みに入った7月19日からの合宿では、練習の様子を参観するなどして子ども達と交流をしてきました。



資源ゴミ回収アクティビティ

1 R 2 Z

伊予ライオンズクラブ

この事業は平成11年より始まり現在に至っております。年6回(偶数月第4土曜日)委員会ごとに担当月を割当て実施しています。内容は古新聞紙・雑誌・ダンボールなどを会員が持参した担当委員会が回収作業を行っています。この事業で年間10万円程度の事業資金を得ています。また昨年度より地

元ガールスカウトのアルミ缶収集事業への協力も同時に行っています。



おたたさんで交通茶屋

1 R 2 Z

松前ライオンズクラブ

毎年、秋の全国交通安全運動期間にちなみ、松前町で活躍した行商のおたさんのいでたちで交通安全を呼びかけます。松前町と協力してまちのPRポスターを作成及び珍味1000個を買い物客に配布しています。

愛媛県動物愛護フェスティバル えひめ2014

1 R 2 Z

松山北ライオンズクラブ

愛媛県動物愛護フェスティバルえひめ2014に後援団体として参加(来場者数2,500人)動物愛護精神の啓蒙に努めるとともに、当日は献血車を配車し、来場者に献血の協力を呼びかけました。





『外国人による 日本語弁論大会』

1 R-2 Z

松山湯築ライオンズクラブ

我が松山湯築ライオンズクラブには誇るべきアクティビティーターとして『外国人による日本語弁論大会』があります。YCE委員会主体のもと各大学、高校、専門学校または一般の方まで広く応募を募り日本に住む外国人に日本での生活や考え方など日本語でスピーチをして頂く企画です。今年で7年目を迎えます。流暢な日本語の人もいれば少したどたどしい方もいます。しかし私たち日本人が考えもしない観点から日本を見るスピーチ内容はまさにエキサイティングそのもの。しかし、最後には人として何を考え行動していくか、世界共通である助けあい、人の立場に考え生きようというWE SERVEの精神にたどり着くような気がします。今後もこの活動を続けていき国際交流の一つとして成長していければと考えております。



交通茶屋の実施

1 R-3 Z

北条ライオンズクラブ

北条ライオンズクラブ主催による秋の交通安全運動に合わせ、9月25日(木)10時から交通茶屋を開設しました。松山西警察署の協賛により参加者は警察署員5名、安全協会員2名、児童保育園児、先生以下9名、ライオンズクラブ会員11名、計27名にて道の駅ふわりにて反射タスキ、パンフレット、園児の交通安全メッセージなど安全啓発用品を手渡しました。

先生やクラブ会員の介添えで園児が「交通安全気をつけて下さい。」と呼びかけると、ドライバーさんも顔をほころばせて答えていました。特に高齢者の事故が多発している中、ドライバーさんに理解をしてもらったのではと感じました。

参加いただいた皆様のご協力に感謝申し上げます。



『松山中央ライオンズクラブ杯 少年サッカー大会』

1 R-3 Z

松山中央ライオンズクラブ

5年前、松山中央LC45周年記念事業として関わり始めた冠大会。愛媛県中予地区の約40チーム800名が2日間に亘って激闘する大会です。我々中央LCメンバーも毎年40名余りが参加するアクトのひとつです。



『第28回松山地区 中学生ソフトテニス大会』

1 R-3 Z

松山南ライオンズクラブ

第28回松山地区中学生ソフトテニス大会を主催(市内30校参加)

松山中央公園テニスコートで、総体ベスト16を除く試合の機会の少ない選手を優先的に、個人戦と団体戦を開催。

今年度は、台風の影響で個人戦は3年生のみ実施。

秋の交通安全運動

1 R-3 Z

東温ライオンズクラブ

秋の交通安全運動中の9月24日(水)東温ライオンズクラブは、東温市役所横で交通茶屋を開催した。

大西副市長、豊島松山南警察署長はじめ約100名でドライバ―に安全運転を呼びかけた。参加団体は、松山南警察署・松山南交通安全協会・東温市・東温高校・婦人会・ヤマト運輸など。



**第12回松山金亀ライオンズ旗
争奪少年ソフトボール大会**

1 R-3 Z

松山金亀ライオンズクラブ

9月6日(土)、7日(日)

第12回松山金亀ライオンズ旗争奪少年
ソフトボール大会主催

松山少年ソフトボールリーグ連盟を主
管とし33チームが参加。

子供達の熱戦に、観戦する会員も感
銘を受けている。優勝・準優勝チーム
にメダルを贈呈し、大変喜ばれ励みに
されている。



**第10回松山白鷺ライオンズカップ
少年少女空手道選手権大会**

1 R-3 Z

松山白鷺ライオンズクラブ

”子どもの未来は まちの未来”をテ
ーマに、青少年育成事業として、8月
31日愛媛県武道館で第10回松山白鷺ラ



イオンズカップ少年少女空手道選手権
大会を開催。今年は、ラトビアから7
人の選手と保護者6人が参加。

**「第25回新居浜市中学生
英語スピーチコンテスト」**

2 R-1 Z

新居浜ライオンズクラブ

9月22日、当クラブ主催の「第25回
新居浜市中学生英語スピーチコンテス



ト」を開催いたしました。平成2年
に当クラブと新居浜市教育委員会が協
力し合い市内中学生の英語力向上の為
に始めたアクティビティーです。

**平成26年度新居浜市スポーツ少年団新居浜
中央ライオンズ杯ソフトボール大会**

2 R-1 Z

新居浜中央ライオンズクラブ

去る9月7日に第26回目のソフトボ
ール大会を開催しました。青少年の
健全育成を旗印に、メンバー13名が
参加して大会のお手伝いをしました。
歴史のある大会に成長し、又賛同さ
せて頂いている事に感謝しております。



**25周年記念事業
『語り舞台〜日本神話への誘い〜』**

2 R-1 Z

新居浜別子ライオンズクラブ

昨年、女優水野真紀さんによる『語
り舞台〜日本神話への誘い〜』を25周
年記念事業として行いました。

舞台となった一宮神社は、神話の語
りとライトアップされた深緑の樹木の
風景が相まって幻想的な世界となりま
した。





『新居浜ひうちライオンズクラブ献血』

2 R-1 Z

新居浜ひうちライオンズクラブ

本日は「新居浜ひうちライオンズクラブ献血」の事業日であり、三役の方をはじめ、メンバーの皆様にお集まり頂きまして、誠にありがとうございました。

早朝よりの準備並びに献血事業において、今回の予定数をクリアー出来ましたことは、ひとえにメンバーの皆様のご協力のおかげと感謝致しております。

この場をお借り致しまして、厚くお礼申し上げます。

今後とも、「新居浜ひうちライオンズクラブ」の活動に益々のご理解とご協力を賜りますよう、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

なお、今回の献血結果を、下記の通りご報告致します。



クラブメンバー
クラブメンバー
献血結果
総数...27名
出席者...24名

受 付...146名

400ml献血...119名

不採血...27名

『オーケストラがやってきた!』

2 R-2 Z

今治ライオンズクラブ

今年度メインアクティビティ『オーケストラがやってきた!』

市内の特別支援学校の生徒を中心に、市内29校の小学生とその父兄約2,000人を招待。愛媛交響楽団の協力のもと、子供たちがあまり見る機会のないオーケストラの演奏会をユーモアあふれる内容で開催しました。



薬物乱用防止教室の開催

2 R-2 Z

今治中央ライオンズクラブ

7月3日に今治市 朝倉小学校で6年生を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。タイトルは「薬物乱用はダメ!! ゼットタイ!!」です。ベテラン小川講師の素晴らしい講義でした。子供たちの中から一人の薬物乱用者が出ないように心から願います。



『地域を巻き込んだ環境美化活動』

2 R-2 Z

今治くるしまライオンズクラブ

「これぞ、くるしま!」という看板アクトが、毎年の「不法投棄ゴミ撤去事業」で、1000字では説明は無理。こちらのQRコードから2分余りの動画をどうぞ。視聴方法不明の場合はお子さんかお孫さんにお尋ねを。



ウィ・サーブの精神で

奉仕活動

2R-3Z

伊予三島ライオンズクラブ

伊予三島LCとしての、アクトに關し、視覚障害者1日の集いを毎年実施しております。このアクトは、視覚障害者及び福祉協議会と事前に打ち合わせをして、視覚障害者の希望する方向で、観光、会食をして親睦を深める事業であります。



視覚障害者からは、毎年この事業を楽しみにしていると聞きしております。

多数のクラブメンバーが参加し、クラブとして、今後も継続する事業であり、時代のニーズに合わせ更なる有意義な事業に発展し、ウィ・サーブの精神で奉仕活動に邁進いたします。

『子供たちと
一緒に考えよう!』

2R-3Z

伊予土居ライオンズクラブ

町内全小学校に於いて、『みんなで守ろう! 私たちの地球』をスローガンに「地球の秘密環境教室」を開催、町をきれいにしたいという子供達の気持ちが大人へと広がり、毎月の河川清掃には多くの市民が参加します。



「みつまたの里」整備事業

2R-3Z

四国中央法皇ライオンズクラブ

30周年事業で取り組んだ「みつまたの里」整備事業が成功したかに思っていました。が「イノシシ」によって全滅に近い状態になりました。その後「シシがこい」を設置するなど全力でやっています! ころです!



薬物乱用防止教育
認定講師養成講座

2R-3Z

川之江中央ライオンズクラブ

336-A地区1・2・3R薬物乱用



公立幼稚園園庭の芝生化事業

2R-4Z

西条ライオンズクラブ

本年3月中旬頃、公立幼稚園園庭を芝生化する事業を実施。子供達の感性を育み基本的な運動習慣の向上や怪我防止等の効果を期待しての施策である。園児達は大変喜び、緑の絨毯の上で走り回れる事を楽しみにしている。





愛媛県レディース剣道大会

2R-4Z

東予ライオンズクラブ

県内外の約130チームを迎え、開催される女性だけの剣道大会です。1チーム三人の団体戦で小、中、それと三人の年齢合計が90才未満と、90才以上の4グループに分かれて熱戦を繰り広げます。

今年で17年目になりますが、年々参加数も増加して大きな大会になっています。東予ライオンズクラブとしては、最も重要なアクトと位置付けています。



『ライオンズ文庫』

2R-4Z

伊予小松ライオンズクラブ

子供時代の読書が豊かな人生と密接に関係していると言われています。活字離れが進んでいる今だからこそ『沢山の良い本と出会って欲しい』そう願って我がクラブでは毎年、地元の小学校にライオンズ文庫として本を寄贈しております。地域の次代を担う子供達に読書を通して様々な事を感じ、想像力豊かな心を持てる様に、これからもお手伝いをさせて頂きたいと思っています。



『交通茶屋』

2R-4Z

西条石鎚ライオンズクラブ

市民の方々に、交通安全をより一層意識して頂く為に、秋の交通安全週間に合わせ交通茶屋を実施しました。運転者に粗品を配り、安全運転の呼びかけを行いました。警察署長他、市民の方々にも大変喜んで頂きました。



大洲ジュニアトリアスロン

3R-1Z

大洲ライオンズクラブ

大洲ジュニアトリアスロンは大洲ライオンズクラブのメンバーが提案して始まり今年で20回目を迎えました。これからは青少年少女たちがこの大会をきっかけに世界へ羽ばたいてほしいと思います。



「防犯カメラの設置」

3R-1Z

宇和ライオンズクラブ

最近子供の誘拐などの犯罪が増加傾向にあり、犯罪が起きにくい街づくりを支援するため、西予市地区防犯協会に防犯カメラを2台寄贈、西予市宇和町伊賀上と同明浜町高山に設置。またJR卯之町駅前に近々1台設置予定。



長浜赤橋夏祭りバザー

開催報告

3R-1Z

伊予長浜ライオンズクラブ

長浜赤橋夏祭りは、長浜大橋河口広場で8月第1土曜日に開催される長浜最大のイベントで、当クラブも毎年祭りを盛り上げるべく出店しております。今年は雨で大変でしたが、和気あいあいと活動する事が出来ました。



ぶどう狩り招待

3 R-1 Z

内子ライオンズクラブ

内子町内の特老「みどり苑」の入所者とそのスタッフも含めて三十七名を「ぶどう狩り」に招待した。摘み取ったばかりのぶどうを冷水に浸し、そよ風の吹く自然の中での味は格別であった。次回の約束をしてバスを見送った。



『出前寿司』

3 R-2 Z

八幡浜ライオンズクラブ

八幡浜ライオンズクラブでは、5年

前から養護老人ホームに出向いて、メンバーで作る「出前寿司」を実施しております。

50名入所されていて、平均年齢は84・4歳だそうです。毎回楽しみにされていて一緒に食事をしながら「和気あいあいと楽しい一時」を過ごし、喜んでいただける幸せを感じています。

健康で長生きして
いただくために

3 R-2 Z

伊方ライオンズクラブ

地域の方々が健康で長生きしていただけるように、毎年、「健康読本シリーズ」を作成し、伊方町全戸に配布しています。

この「健康読本シリーズ」は昭和55年

に第1号を発刊後、今年で35号を迎えます。



愛リバー運動の河川清掃

3 R-2 Z

八幡浜みなとライオンズクラブ

八幡浜みなとLCの重要なアクティビティの一つに愛リバー運動の河川清掃があり、20年前から続いています。数年前から河川の近くの小・中学校と合同で一学期の終業式の日には五反田川で草刈り、ゴミ拾い等を行い河川をきれいにしております。



『平和の塔』追悼祈念式典

3 R-3 Z

宇和島ライオンズクラブ

平成26年8月6日午前8時15分
本年度で7回目となる『平和の塔』追悼祈念式典が南予文化会館前の記念碑(平和の塔)の前で行われました。
平和の塔の上部には現在も広島に投下された原子力爆弾の爆発によって生じた当時の『火』が燃え続けます。



その由来は福岡県八女郡星野村(現八女市)出身である山本達雄氏が広島市にて軍務に就いていたところ原子力爆弾により被爆し、燃える火を星野



3 R I Z N

青少年の健全育成を目標に

村まで持ち帰った上で、多くの尊い生命を奪った怨みの火として、また犠牲者への供養の火として山本家は23年間守り続け、それを引き継いだ星野村が宇和島ライオンズクラブに申し四国で初、全国では12番目に分火して戴いた『火』であります。

私たち宇和島ライオンズクラブは今後もこの『火』を守り、平和の象徴として次世代へとしっかりと継承していくと考えております。

伊予吉田ライオンズクラブ
広島県安芸高田(旧安芸吉田)ライオンズ



3 R I Z N

「安全運転を願って」

ンズクラブと1989年(平成元年)姉妹締結。1993年(平成5年)、30周年記念事業として、青少年の健全育成を目標に両吉田中学校生徒のスポーツ交流を行ったのを機に始まり、今年で21回を数えています。バレーボール、バスケットボール、サッカー、野球など隔年で交互に交流親善試合をしています。今年度は安芸高田市でサッカーの交流試合をしました。

宇和島中央ライオンズクラブ
知永峠には当クラブが設置している交通安全広告塔があります。毎年、夏の間に伸びた草で、交通標語が隠れます。8月後半の残暑厳しい中、草刈りをしてよく見えるようになった標語と共に交通安全を願っています。



3 R I Z N

「南宇和ヤング3S サッカー大会」

南宇和ライオンズクラブ

青少年の健全育成を目的に行っております「南宇和ヤング3Sサッカー大会」(スポーツ、サポーター、サービス)は、今年で第30回記念大会を迎えることが出来ました。前夜祭では愛媛県警察音楽隊によるコンサートを盛大に開催し、大会では、21チーム214名が元気いっぱいプレーをしました。

3 R I Z N

パラグアイのイグアス日本語学校に教材をプレゼント

鬼北ライオンズクラブ

鬼北町長がブラジルの日本人会の記念式典に参加したのが縁で、イグアス日本語学校と交流することになり、教材を送りました。7月26日にイグアスの校長先生からお礼状が届き一安心しました。次は子供たちの絵画の交換をします。



日韓学生親善文化交流を終えて



2014年5月13日より16日まで354-D地区(韓国)の年次大会へご招待頂き木内ガバナー以下30数名の者が出席させて頂きました。一同は思いのほかの歓待を受けましたが、その折、354-A地区総裁より336-A地区ガバナーに対して日韓学生親善文化交流を打診されました。帰国後、キャビネットで相談を重ねた結果、受け入れすることになりました。期間は8月5日から13日までとなり、9名の大学生(男子7名・女子2名)が訪問されることになり、受け入れの準備を始めました。

8月5日夕方4時50分に高松空港に到着されました。全員に花束を贈呈して歓迎を致しました。その日の夜は徳島藍ライオンズクラブの納涼例会でありましたので、ご招待を頂いて併せて歓迎会となりました。その夜からはホームステイすることになり、市村さん(鴨島)、佐藤さん(応神)、岩佐さん(藍住)、戎谷さん(徳島藍)の4組に分かれることになりました。

6日から午前9時キャビネットへ集合して全員マイクロバスで、まず眉山ロープウェイにて徳島一望、昼食(いのたにラーメン)続いて川内にある人形会館そして十郎兵衛敷にて人形浄瑠璃、終わった後人形の使い方や手足の動かし方等実演人形に触れて見て浄瑠璃の文化を味わった。夕食は松茂の濱寿しという回転寿司、皆20皿も食べました。





7日はキャビネットへ9時に集合して高松栗林公園へ松前前地区ガバナーの先導で園内を見学した。その風景は忘れられないくらい美しかったと感想を述べていました。昼食は、名物のさぬきうどん、午後は屋島水族館へ特にイルカショーが面白かったようです。夕方はお好み焼きを食べに行きました。作り方が面白くてとても美味しかったです。

8日はキャビネットへ集合して淡路サービスエリアにて観覧車に乗って阪神地方を一望しました。神戸に行ってみたくらいということで昼食後、神戸元町南京町に行きました。帰りがけ「タコせんべいの里」に立ち寄り、夜は各家庭にて家庭料理で舌鼓を打ちました。

9日10日は台風の影響で休日となりましたが、少し静かめになった時全員でゆめタウンへ行きました。楽しく買い物が出来たと喜ばれました。夕方にかけて鳴門ライオンズクラブの阿波踊り例会に出席する為ルネッサンスリゾート鳴門へ。当日は台風の影響で本番が中止となった為にホテルの例会に併せて踊ることになりました。全員はよく食べてよく飲んでそして鳴門ライオンズクラブが用意した阿波踊りのロゴマークが入ったTシャツを着てよく踊った。11日は9時にキャビネットへ集合、藍住町の藍の館で藍染め体験、昼食は大塚美術館内の食堂で昼食それから館内を見学、見たかった作品が沢山あり至極感動された様子でありました。



12日午前中は自由時間を取り楽しい時間を取られた様子でした。午後2時キャビネットへ集合して解散式を行い木内ガバナーより1週間の体験を大切に帰国後は学業に励まれるよう話されました。そして木内ガバナー他大勢で高松空港へとお見送りしました。

日本三大あばれ川「吉野川」の流域で育った「阿波藍」「人形浄瑠璃」そして「阿波踊り」「阿波三大文化に馴染んで頂き日韓心の交流の始まりとなったのではないのでしょうか。

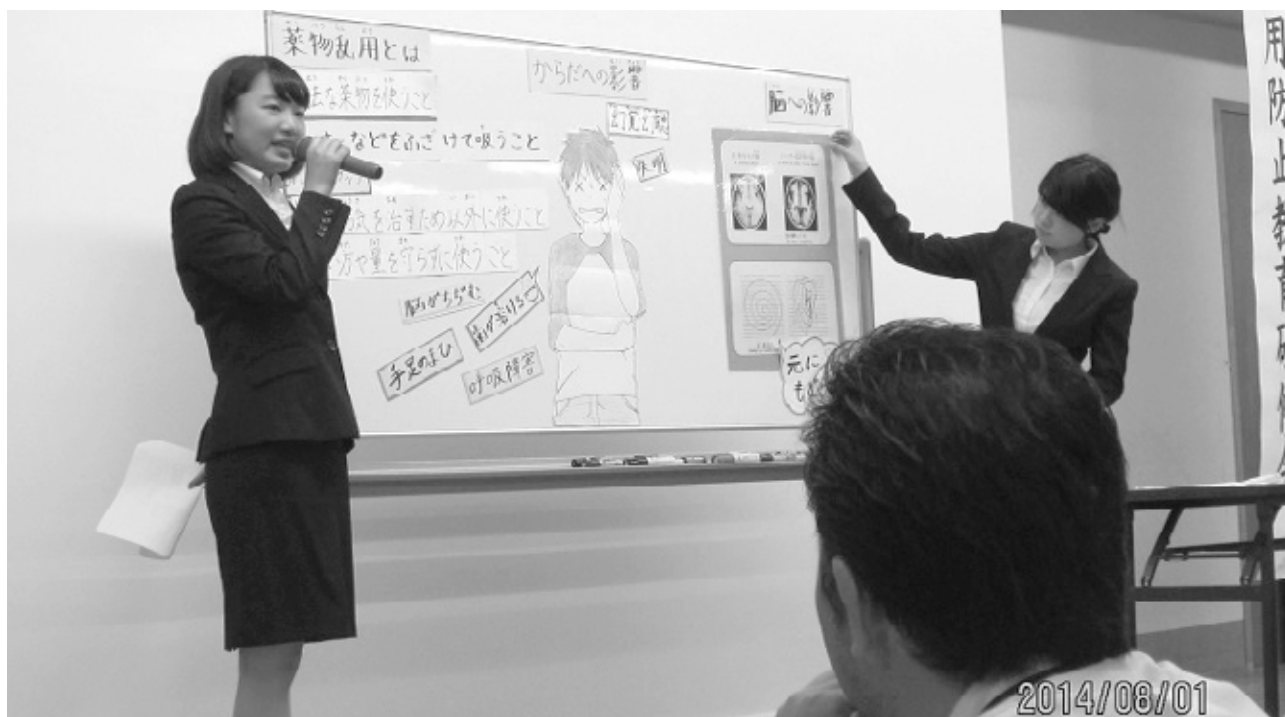
徳島キャビネット幹事

岩佐 典秀



高知桜ライオンズクラブ

「過去から未来へ こころ新たにウィーサーブ」



高知桜LCは、昨年20周年を迎えた女性のためのクラブです。今期はメンバー35名、スローガンは「過去から未来へ こころ新たにウィーサーブ」です。20年の歴史を大切にしつつ未来をみつめ、時代に即したビジョンをもって奉仕活動を展開したいと思っています。

継続事業としては、桜の植樹、公園の清掃、平和ポスターへの参加、留学生との交流、薬物乱用防止教室等があります。特に薬物乱用防止活動については学生認定講師を養成し高知県立大学に「ダメゼッタイサークル」を立ち上げました。小学6年生を対象に薬物の恐ろしさ、特に脳を破壊してしまう恐ろしさをコントも交えて学生が授業を行っています。学校・警察・桜LC・サークルが連携して行っていますが、最近他のクラブにも広がりを見せている事はとても嬉しいことです。その運営がスムーズにいくよう目下マニュアル作りに取り組んでいます。「たばこは薬物への入り口」といわれますが、禁煙活動にも取り組みたいと思っています。

また、クラブ員がゆとりの心をもってライオンライフを楽しめるよう同好会UNO(右脳)会を作りました。日ごろ忙しく左脳をフル回転しているクラブ員が右脳も活性化できるよう「花火大会鑑賞」「料理教室」「健康体操」「これまで自分たちが植樹した桜を巡るお花見」等を計画しています。

課題としてはクラブ員の高齢化や家族の介護・子育て等で活動に参加しにくい会員がいるという現状です。お互いが協力し尊重し合って奉仕活動を続けていきたいと考えています。

さらに「アラート」への取り組みがあります。まずクラブ内の災害緊急連絡網を作りました。又災害時に自分たちは何ができるかという観点から、①保存食 ②労力支援 ③支援物資 ④健康管理等を取り上げ、8月にはAED講習会を実施、10月には防災食の調理実習を計画する等クラブ員が常に危機感を持ち連携を密にするよう心がけています。





高知とさみずきライオンズクラブ

「心と心をささえあって」



とさみずきライオンズクラブ
斎藤 明子

新年度を迎えるにあたり、クラブの存続を問われる状況の中で、少人数ではあるけれど、「出来る事を出来る形で」と出発した2014年度でした。それぞれが抱える環境と、限られた時間を認め合い、理解しながら、3か月が過ぎようとしています。

一人が二役、三役の委員を兼ね、理事会、例会のメンバーの顔触れは、ほぼ同じです。

結成当時から始めたライオンズクエストを中心、女性として、母親として、そして、おばあちゃんの目線で、青少年の活動は、揺るぎない我々の継続活動となっております。

会員のほとんどがLQワークショップを受講し、自らがその大切さを身に染みているからこそ、続けてこられたのでしょう。

ワークショップを終えた後、まるで魔法にかかったように激変していく参加者たちの希望に満ちた様子を目の当たりにすると、「本当に開催してよかった」と心から嬉しく思います。感動を分かち合えることこそが継続の大きな力の源です。



このLQ活動の唯一資金獲得事業として、行っているのが「チャリティ大バザール」です。LCだけに偏らず、知人、友人、地域の方も巻き込み、参加をして貰えると言うのが大きな特徴です。また、出店もLC以外の一般の方に広く呼びかけ、素敵な手作り雑貨や洋服、アーティストの作品、クッキーやパン宝石等々、15店舗前後、一同会場に並びます。訪れてくださる方も様々。

出店して頂いた方には売り上げの20%を、とさみずきLCに寄付して頂きます。今年の開催は11月26日。現在、準備が大わらわです。

出店の中には民間ボランティア活動をされていらっしゃるグループや、作業所のお店もあり、その方達には場所を提供させて頂くだけで、LCとしての我々の活動もさせて頂いております。ささやかな活動を繋ぐメンバーのボランティアの心を大切に、少ないメンバーですが来年の6月、笑顔で終える事を祈るような気持ちで過ごす日々です。

2014年～2015年度 YCEミニサマーキャンプを主催して

YCE・国際関係委員会 委員長 山本久美子



日中の温度計が36℃～37℃という猛暑の中、7月24日～27日の3泊4日の日程で徳島において、2014年～2015年度のYCEミニサマーキャンプを開催致しました。

今期は複合地区内、336-A、B、Dの3地区(C地区は単独で開催)からフランス、スロバキア各1名、フィンランド2名、台湾16名、計20名のYCE来日生を迎えての実施となりました。一番頭を悩ませたのは、予想される猛暑や近年増加している食品アレルギー等の食事を考慮しながら来日生同士のコミュニケーションを図るだけではなく、徳島の文化を盛り込んだ体験活動をして欲しいということでした。結果、阿波踊り、阿波藍染め体験、阿波和紙製作はもとより、徳島県立城北高校民芸部の皆さんの協力を頂き人形浄瑠璃をとうして日本文化の継承を頑張っている同年代の学生との交流が印象に残ったようでした。大塚国際美術館や四国八十八か所霊場の一番札所を始め、祖谷のかずら橋、大歩危の溪流



下り等の文化や自然にも触れてもらった中で、たった4日間ですが寝食を共にしていると意外な気付きもありました。自ら日本への派遣を希望して来日した20名ですが、個々に温度差が大きく、ハラハラさせられる出来事もあり





ました。
万国共通なのは空き時間があると視線はスマートフォンに釘づけというところでしょうか？

この20名が大人になって再来日することがあれば、サマーキャンプを思い出して四国を訪れて欲しいなと思いつつ、何はともあれ熱中症も出ずトラブルもなく全員無事にホストファミリーの元に帰った事が、主催者としては万歳！

最後に、開村式、閉村式には木内ガバナーはもとより、336-B地区別



所ガバナー、複合地区YCE・国際関係委員長の長谷川様、ホストクラブ、ホストファミリー、関係クラブの皆様、A、B、D地区役員、キャビネット役員他70名余りの御出席を頂きました事を、紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。感謝！



LionsQuest ライフスキル教育 プログラム

ライオンズクエスト
特別委員会委員長
春木 扶佐子（鳴門LC）



3361A地区では2006年よりスタートしたライオンズクエスト事業では先輩方の地道な普及活動により、毎年ワークショップ（体験型研修会）やセミナーを継続的に開催しております。

今年の夏には3回の校内型ワークショップを開催し、63名が修了されました。活動が公募型ワークショップ開催に集中した時期に比べ、校内型やフォローアップ、実践校の実施支援も重視されてきました。このような背景にはプログラムの良さが認められ、実施後の教員の「指導力の向上」学級・生徒の「良い変化」につながってきたことのあらわれだと思います。しかし、まだまだ、ライオンズクエスト事業の大切さが理解されていないのも事実です。

今回は「ライオンズクエストって何？」「子どもたちはどのような授業を受けているの？」という質問にお答えし、少しでも理解を深めていただきたいと思います。

伝えてください
あなたのそばにいる子どもたちへ

ライオンズクエストで学ぶライフスキルとは？ 困難を乗り越えるから

- ① 自分で自分をコントロールする能力
がまん、けじめ、積極性など
- ② 他の人とうまく関わる能力
あいさつ、思いやり、コミュニケーションなど

学校の授業を通して子どもに届けます

プログラムの授業は、2日間のワークショップ（研修会）を修了した先生方により実践されます。

ライオンズクエスト プログラムの 学習方法は？

ステップ 1

どの子にも出会いそうな問題をテーマにする

ステップ 2

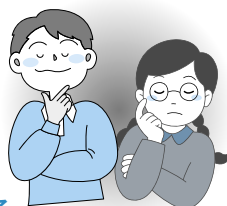
その解決方法（スキル）を学ぶ

ステップ 3

練習によって身につける

ねらい

自分をたいせつに思う気持ち（自尊心）を高める



模擬授業 上手な話の聞き方

上手に聞くための 3つの重要ポイント

ホップ：意識を集中しよう！

うなずいたり、前かがみになる。
相手の目を見る。他のことをしない。

ステップ：内容を理解しよう！

相手の話を中断しない。相手の話と関係のない、自分勝手な意見やアドバイスをしない。

ジャンプ：相手の話を引き出そう！

「なぜ」「どこで」「どのように」などと質問する。相手の気持ちに沿ったコメントをする。自分の言葉で、相手の気持ちを察するコメントをする。

ねらい「上手に聞く」スキルを学び、練習する

- 聞き役の人が話を本当に聞いてくれているときの、どんなところが良かったか。
- 聞き上手になることと、他の人と良い関係を保つことはどのような関係があるか。

私たちも家庭で子どもに対応する時、夫婦で話す時、何かしながらであったり、忙しくて落ち着いて聞く気分でなかったりすることがよくあります。つまり「半分しか聞いていない」ことが多いのです。

子どもは、私たちと同様、話を聞いてくれる、自分のことを理解しようとしてくれていると感じることが必要なのです。より上手に聞くために、3つのポイントを意識しながら話を聞いてみてください。子どもだけでなく、私たち大人にも大切なスキルです。聞き上手の授業の大切なことを感じ取っていただければと思います。

このようにライオンズクエストプログラムは生活の中で出会うさまざまな問題にうまく対処し、人生を豊かにするための知恵やコツ、やり方を教えます。子どもたちはやり方（スキル）を知ることにより、前向きな対処ができるようになります。

子供たちにはたくさんの選択肢を身につけて前向きな人生を歩んでほしいですね。……

継続的にワークショップを開催されているクラブ、新たに取り組もうというクラブをご紹介します。

本誌に寄せられました熱意や経験に共有していただき、今後の普及活動にご協力くださいますようお願いいたします。



6月の2Rの委員長スクールで各クラブの次期青少年委員長の皆様にLQについて話させてもらったところ、「いいと思っててもLQのことを具体的に知らないのので周りに勧められない」と言った声が出て、春木委員長やRCにも相談し特別委員会主催の体験会を早いうちに2Rで開催しようと思っています。今後はこのような普及活動もして、一人でも多くのライオンズにLQを体験してもらい理解を深めてもらうことが必要ではないかと思っています。

それに先駆けた9月24日(水)午後7時から、所属クラブ主催で体験会を開催しました。会長がLQに理解を示してくれて、「LQを進めるにしてもまずは自クラブの会員が知らなければ」ということで、自クラブ会員以外に2ZのZCやZ内のクラブの三役を始め

LionsQuest ライフスキル教育 プログラム

336-A地区
ライオンズクエスト特別委員
野間 典子

今治くるしま体験会

としたライオンズと小中学校の教師も参加してくれて計47でした。

体験会では、LQの概要を説明するだけでなく、実際にこのプログラムを使った授業を参加者に「体験」していただきます。今回も講師の春木委員長が、導入部分で「互いのことを知ろう」という授業をゲーム感覚で進め、緊張をほぐした後「聞き上手になろう」という単元の授業に移り、3人1チームになり聞き手・話し手等の役割を交代しながらスキルを身につけました。大人にも通用するライフスキルです。参加者の多くがこの体験会を短く感じた充実した2時間弱でした。

後日、教師を参加させてくれた校長先生から(参加者の)「触りの部分しか体験できなかったのが残念、もっとLQを知りたい」との感想を聞いて、熱い気持ちの時にぜひワークショップを受講して欲しいと思いました。



LionsQuest ライフスキル教育 プログラム

土佐山田ライオンズクラブ
クエスト委員長
大橋 明美

第4回ライオンズクエスト ワークショップを終えて

8月19・20日 香美市奥物部ふれあいプラザにて

昨年までに83名の受講を終えて、今夏4回目となったワークショップです。

今年は物部地区小中学校の教職員対象の校内型で開催しました。この地域は近年高校が閉校となり1学年1学級という過疎に近づきつつある地域で一貫教育も視野に入れられてのことと思います。

今回で97名の受講者が修了証書を受け取り、クエストの共通体験、意識を共有することができました。香美市内の教員の80%にとどくでしょうか。これからは新たな転入者を含めたフォローアップに進んでいかなければなりません。そして、香美市でのWS終了者が転出先でこのスキルを無駄にすることなく、更にひろめるには、ライオン



ズクラブの連携、力が必要だと思えます。未来の子供たちのために今できることを着実に進めて行く所存であります。

LionsQuest ライフスキル教育 プログラム

香美市教育委員会
山岡 由賀

ライオンズクエスト 研修会を実施して

香美市での研修は、平成23年度より行い、今回は校内型で大柵小学校・大柵中学校の合同で実施させていただくことにしました。いずれも小規模校で、1学年1学級、小学校には複式の学級もあります。小学校入学前より中学校卒業まで、ずっと同じ集団で育つ子どもたちは、一見、互いをよく理解しており、多くを語らなくても気持ちばかり合っているように思えます。しかし、ライオンズクエストが大切に行っている、自分を見つめること、感情をコントロールするスキルを身につけると、もつとよく他人を知ること、たくさんの人と豊かな人間関係を築くためのコミュニケーションスキルを身につけることなどは、この地区の子どもたちにとっても大切なことです。そこで、小中学校の教職員がともに研修を

行い、この地区の子どもたちの現状をとらえることや、9年間を通して子どもたちを育てていくプログラムを体系的に学ぶことが重要だと考え、今回の研修となりました。

小中の教職員が混じった授業作りは、お互いの子どもの見方を伝え合ったり、再確認したりと、小中連携を深めていく機会や題材を提供していただくことにもなりました。目の前に子どもたちの顔を思い浮かべて授業案を練り、子どもの反応を予想しながら授業を体験することができました。2学期早々に合同の運動会を控えた両校にとって、改めて児童・生徒理解が進んだり、活動の工夫が見えたりすることにつながったはずで、研修の一つ一つ、構成、説明やかける言葉にまで学級を作っていくポイントが随所にちりばめられていて、若くこれから育っていく教員だけでなく、全ての教員にとって、たくさんの実りある研修となりました。

小学校長よりは「全校集会や各学級、小集団の活動で今後取り組んでいこう」としている。何より、研修の中で集団作りや子どもたちの見方について、これまでの自分たちを振り返る機会にもなった。中学校長よりは、「校内型で全員が研修できたので、共通言語で話ができ、2学期中にいくつかプログラムを実施

したい。」何より、先生方が「あの子には、このプログラムをやってみよう」と言っていて研修を終えられたのが、大きな成果だと思っています。この地区の子どもたちが、地域で、そして高校進学を機に地域から外へ出たときも、自信を持って他者と関わり、自己を見つめ、目標を高く持ちそれを実現していくよう、ライオンズクエストのプログラムを活用して子どもたちを育てていきたいと考えています。





LionsQuest

ライフスキル教育プログラム

336-A地区
ライオンズクエスト特別委員
吉村 政男

ライオンズクエスト ワークショップの 取り組みについて

土佐LCでは本年度で4回目となるワークショップを8月21日(木)・22日(金)の2日間開催しました。今回で土佐市内、小中学校120名の先生方が修了証書を受け取り、市内の教職員の中に輪が広がっていることを感じています。今回は先生方の感想と現場でのことも達の変化などを紹介します。

実施校での現場の声

○感情のコントロール

自分がイライラした時にそのイライラを抑える方法を知る事ができた。また、腹をたてた子ども達に対して適切な声かけがわかり、トラブルが少なくなった。

○百万回のありがとう

感謝の気持ちなどを率直に表現することが苦手な子どもが多かったが、自分

の嬉しい気持ちを表現する事ができるようになった。「ありがとう」という言葉がクラスの中でたくさん聞くことができるようになった。

○集団のきづなを強める

クラスの一員として、自分に与えられた役割に対して責任を持って果たそうとする子どもが少なかったが、係り活動や縦割り班活動などで自分の仕事に責任を持って活動する子どもが増えた。

○スポットライト

年度初めの学級開きのとき「スポットライト」シートを使って学級の児童の理解と新たな友達の下に気づかせる活動を仕組んだ。日常、気づかない友達の下に気づく機会となり、居心の良い学級作りにつながった。

ワークショップ修了者の感想文から

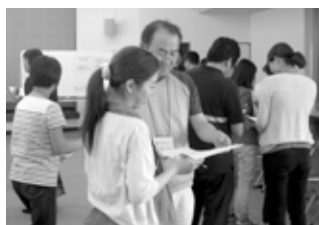
○「目標を持ちましょう」と言うような抽象的な言葉ではなく具体的に目標とは何か、そして目標の立て方について仲間の意見を聞きながら学び、実際に自分でもやってみようというプログラムを体験しました。言葉で伝えるだけでなく「やり方が分かってそれができる」ようにしっかりとした意図をもつて系統的に実施できるプログラムがあることが分かりました。このようなプログラムであれば、子ども達も主体的

に学びながらスキルを身に付けていくことができると思いました。

○「ライフスキル教育」の模擬授業を通して、教材研究の大切さ、教師の受け止め方等、ライフスキルだけでなく。教員としてのスキルをも学ぶことができました。私自身一つ成長できたのではないのでしょうか。新学期が楽しみで仕方ありません。早く子ども達に会いたい！そんな気持ちにさせられました。

聞き上手チェックカードも今後大変役に立つものの一つだと思います。これも、クラスの子どもに言うだけでなく、大人の私でも「よく頑張ったね」といわれたら嬉しいということに気づかされました。大人でも嬉しくやる気のでる一言なので、2学期からクラスの子ども達に1学期以上にたくさん声をかけようと思いました。

授業始めに行う「エネジャイザー」や子ども同士協力して学習を行う点など、現場に持ち帰り実践する事ができる内容を、身をもって学ぶことができました。



LionsQuest

ライフスキル教育プログラム

鳴門ライオンズクラブ
ライオンズクエスト特別委員会 委員長
泉 雅之

第5回 鳴門ワークショップを開催

平成26年7月30日、31日の両日、鳴門市第一中学校において「第5回鳴門ワークショップ(WS)」を開催しました。今回、市内中学校4校(鳴門第一中14名、鳴門中2名、瀬戸中1名、大麻中1名)小学校では板野南1名・北島北1名、脇LC1名、美馬教育研究所1名の22名の皆さんがライオンズクエスト(LQ)プログラムを修了されました。

WSには、公募型と校内型があり、鳴門LCはこれまで今回を含め公募型3回、校内型2回を開催しました。一昨年内校内型WSを修了された鳴門中学校では現在LQプログラムを活用した授業を実施していただいています。また、今回のWSに校長先生自ら参加していただいた鳴門市第一中学校においても、これからLQ実践校として取り

組んでいたきたいと期待しています。

さて、ライオンズクラブの皆さんはLQ事業をどのように思われますか？

よく「説明を聞いてもわからない」「理解はできるが、むずかしい」と。

では、ここでライオンズクエスト事業を簡潔に言いますと、まず、ライオンズクラブが学校の先生方を集めてWSを開催し、参加者にLQプログラムを習得していただきます。そして、先生方は学校の現場(授業)で習得したLQプログラムを使ったライフスキル教育を実施して子どもたちに「生きる力」を学んでもらう。さらにライオンズクラブはLQ実践校と定期的に連携をは

かり、授業を継続的に実施していただくためのサポートをする。

しかしながら、言葉でいうのは簡単ですが、現実には「メンバーの理解」や「学校の先生の理解」を得にくいなどいろいろな壁があり、とてもむずかしい事業ですが、長年取り組んでいくうちに一つずつその壁も解消されつつあります。一歩前に踏み出す情熱をもちながら、近い将来に子どもたちが学校でのLQプログラムで学んだ「スキル」を育み活かし成長してくれることを願い、根気強く時間をかけて取り組んでいきたいと思っています。



献血推進活動について

環境保全・保健福祉・アラート委員会 委員長 手塚 任

今回は、次の献血推進活動について記してみたいと思います。

● 中四国ブロック血液センターとの意見交換会

(平成26年7月29～30日広島市)

- ① 血液事業について
- ② 輸血用血液製剤の製造について
- ③ LCとの基本方針
- ④ 事例発表
- ⑤ 施設見学
- ⑥ 広域事業運営体制と献血
- ⑦ 複数回献血クラブ
- ⑧ グループ別意見交換会

● 3361A地区4R・5R献血推進研究会(平成26年8月24日高松市)

- ① 角膜移植手術の現状
- ② 核酸増幅検査(NAT)



③ LC献血協力状況 他

日本赤十字社の「人間を救うのは、人間だ(Our world Your move)」崇高な愛のかたちは一献血の受入推進、安全性の向上・安定供給確保への協力、被採血者の保護を目標として「人工的に造れない」「長期保存ができない」「輸血患者1日3千人(85%が50歳)」「病氣治療(がん他)」のために、若年献血、安定的集団献血、複数回献血、全血献血(400ml)、成分献血(血漿製剤・血小板)がLCの献血推進協力をと前回以上の実績、若年献血確保推進及び過不足のない安定供給、健康な血液を支える尊い命、患者さんの生命を守るのには、献血から生まれる「愛の贈り物」と「献血は医療」と併せて各県LCの実績状況説明を中心に研究会が開催されました。

四国四県各リジョン・ゾーン及び会員各位のご支援・ご協力誠に有難うございます。

どうか今後とも是非一層のご協力お願い申し上げます。



命の尊さ、他者への思いやりの奉仕にと、ライオンズクラブ会員のみなさまは、情熱、意欲と可能性を信じて一生懸命に取り組んできて頂いております。

当委員会の活動は、広い範囲が求められ、献血推進、検眼登録、薬物乱用防止、献腎登録、感染症予防、健康活動等を始め、地球温暖化による気候変動への取り組み(CO₂削減、省エネ、リサイクル運動、環境保全に配慮した活動等)及び災害発生による危機管理対応等がライオンズクラブに課せられた使命でもあり、期待されているものであります。





各県にレオクラブを

ライオンズレオ特別委員会 委員長

市村 通夫

ライオンズレオ特別委員長を拝命しまして早くも3年目になります。

今期、木内ガバナーは各県にレオクラブを立ち上げたいという方針を打ち出されました。改めてご紹介します。

336-A地区には現在高知LC(7名)と宿毛LC(14名)のふたつのレオクラブがあり、日本全体では134クラブ1795名のレオメンバーがおいでます。それぞれライオニズム、ウィサープの精神でご活躍されておられます。

そんな中、今年は354-D地区との交換学生、文化交流として韓国のレオメンバーが来日し交流をしました。その件については、YCE・国際関係委員会の山本委員長さんの方からご報告があると思いますので、割愛させていただきます。

私の方からは、愛媛県の西条石鎚LCがレオクラブを立ち上げるとのことです、2R4Zの松本ZCに相談したところお骨折りを頂き4Z合同例会並び

に地区役員等例会訪問させて頂きました。

2R4Zは、西条LC、伊予小松LC、西条石鎚LC、東予LCと4のライオンズクラブがあり当日は約120名のメンバーが集まり盛大な例会でした。

木内ガバナーの来賓挨拶、西原地区名誉顧問、中村RC、松本ZC、長野GMT・GLT・会則・プロトコール委員、喜井PR・ライオンズ情報・大会参加委員、青木青少年・LCIF・地域奉仕委員、寺川環境保全・保健福祉・アラート委員、山田YCE・国際



関係委員のそれぞれ来賓の方のご挨拶があり4Z合同例会が始まり各クラブ会長ご挨拶がございました。

その中で、特筆すべきは首藤西条石鎚LC青少年育成委員長より西条石鎚レオクラブの紹介がありました。伊藤さん矢野さん青野さん庄野さん井月さん徳永さん原さん7名のレオメンバーです。

奉仕活動を通じてライオニズム(ウィサープ)の精神で頑張つて欲しいと思います。今後とも、手厚いフォローを宜しくお願い致します。

336-A地区会員現況

(入退会は累計・2014年7月度～2014年9月度)

R	Z	クラブ名	期首	当月末	増減
1	1	松山ホスト	36	35	-1
		久万	26	26	0
		松山東	48	52	4
		砥部	50	50	0
		松山つばき	54	55	1
		松山城山	43	44	1
	2	松山道後	55	56	1
		伊予	50	49	-1
		松山西	70	68	-2
		松前	21	21	0
		松山北	29	35	6
		松山湯築	63	66	3
	3	松山城東	23	23	0
		北条	18	19	1
		松山中央	110	111	1
		松山南	37	39	2
		東温	31	31	0
		松山金亀	41	41	0
		松山白鷺	64	69	5
	リジョン小計		869	890	21
2	1	新居浜	53	54	1
		新居浜中央	37	37	0
		新居浜別子	36	35	-1
		新居浜ひうち	26	28	2
	2	今治	68	67	-1
		今治中央	60	61	1
		今治東	56	55	-1
		今治くるしま	48	47	-1
	3	伊予三島	35	35	0
		川之江	47	48	1
		伊予土居	74	72	-2
		四国中央法皇	37	36	-1
	4	川之江中央	27	29	2
		西条	66	67	1
		東予	33	33	0
		伊予小松	12	12	0
		西条石鎚	65	68	3
	リジョン小計		780	784	4
3	1	大洲	45	45	0
		宇和	42	43	1
		伊予長浜	12	13	1
		内子	52	49	-3
		野村	23	23	0
	2	八幡浜	41	41	0
		三瓶	18	18	0
		伊方	38	40	2
		保内	39	39	0
		八幡浜みなと	40	39	-1
	3	宇和島	30	32	2
		伊予吉田	32	32	0
		宇和島中央	16	17	1
		南宇和	42	42	0
		鬼北	36	37	1
	リジョン小計		506	510	4

R	Z	クラブ名	期首	当月末	増減
4	1	高松	38	40	2
		小豆島	42	43	1
		小豆島東	31	32	1
		高松葵	26	25	-1
		高松南	25	23	-2
		高松東	59	56	-3
	2	高松西	40	39	-1
		直島	28	28	0
		八栗	48	48	0
		高松源平	34	36	2
	3	高松中央	53	53	0
		東かがわ	81	70	-11
		長尾	66	81	15
		志度	87	84	-3
5	4	三木さぬき	28	49	21
		高松グリーン	21	21	0
		高松玉藻	55	56	1
		高松栗林	101	103	2
	5	高松屋島	68	71	3
		高松紫雲	71	71	0
		高松空港	39	44	5
		高松北	35	35	0
	リジョン小計		1,076	1,108	32
	6	丸亀	106	107	1
		坂出	56	60	4
		坂出白峰	117	115	-2
		綾歌郡	22	22	0
	7	丸亀京極	72	71	-1
		うたづ	51	51	0
		坂出シニア	55	55	0
		観音寺	52	49	-3
6	8	善通寺	45	43	-2
		多度津	62	62	0
		三豊	49	50	1
		こんびら	71	70	-1
	9	観音寺中央	41	41	0
		高知	52	53	1
		高知柏	60	60	0
		高知東	52	75	23
	10	高知北	49	51	2
		高知桜	58	57	-1
		高知ときみずき	15	15	0
		須崎	37	36	-1
	11	土佐	48	49	1
		伊野	25	26	1
		佐川越知	27	27	0
		中土佐	29	29	0
7	12	四万十	49	49	0
		土佐清水	50	49	-1
		宿毛	23	23	0
		窪川	15	17	2
	13	大方	31	32	1
		大正	19	20	1
		リジョン小計	639	668	29

R	Z	クラブ名	期首	当月末	増減
8	1	高知鷹城	53	55	2
		室戸	28	30	2
		高知鏡川	38	38	0
		高知南	33	34	1
		高知よさこい	46	46	0
		土佐国府	23	23	0
	2	高知黒潮	56	57	1
		高知桂	54	54	0
		高知中央	35	50	15
		高知安芸	32	33	1
	3	高知りょうま	47	47	0
		土佐山田	15	15	0
		土佐本山	18	26	8
		南国	27	28	1
	4	土佐香南	29	30	1
		大豊	6	6	0
	リジョン小計		540	572	32
9	5	徳島	19	22	3
		小松島	21	21	0
		阿南	48	48	0
		徳島南	24	24	0
		阿波勝浦	26	24	-2
		徳島マリビ	86	85	-1
	6	徳島すだち	73	88	15
		徳島シニア	15	13	-2
		徳島中央	29	27	-2
		石井	67	65	-2
	7	徳島城山	49	50	1
		上板	35	36	1
		徳島吉野川	34	36	2
		土成	31	30	-1
	8	徳島やまもも	23	23	0
		リジョン小計	580	592	12
	9	徳島眉山	29	29	0
		鳴門	43	44	1
		藍住	37	39	2
		板野	53	67	14
10	10	松茂徳島空港	21	22	1
		鳴門西	27	31	4
		北島	47	49	2
		阿波池田	35	35	0
	11	脇	41	41	0
		三加茂	19	19	0
		徳島西	13	24	11
		鳴島	27	26	-1
	12	阿波	26	27	1
		神山	18	19	1
		徳島藍	36	36	0
		リジョン小計	472	508	36
	地区合計		6,261	6,428	167



物故会員

謹んでお悔やみ申し上げます



①氏名・享年
②LC名
③入会年月日
④没年月日



①武久 一郎 79歳
②8R-2Z徳島城山LC
③昭和52年2月
④平成26年6月26日



①竹内三千夫 80歳
②6R-2Z須崎LC
③昭和60年10月
④平成26年6月23日



①石井 照子 84歳
②4R-2Z高松東LC
③昭和54年6月
④平成26年6月22日



①横川 修 78歳
②7R-2Z高知中央LC
③平成6年1月
④平成26年6月2日



①鎌田 啓祐 82歳
②3R-2Z八幡浜LC
③昭和51年10月
④平成26年5月29日



①木南 茂美 94歳
②9R-1Z藍住LC
③昭和50年1月
④平成26年7月20日



①溝田 義昭 72歳
②8R-1Z阿波勝浦LC
③昭和19年3月
④平成26年7月16日



①植垣 健二 59歳
②6R-3Z土佐清水LC
③昭和60年5月
④平成26年7月14日



①坂東 玲芳 88歳
②9R-3Z鴨島LC
③昭和52年8月
④平成26年7月11日



①中野 博司 73歳
②5R-2Z多度津LC
③昭和55年1月
④平成26年7月3日



①石木 正一 73歳
②8R-1Z阿波勝浦LC
③昭和6年11月
④平成26年9月4日



①竹本 貞信 83歳
②2R-3Z四国中央法皇LC
③昭和55年11月
④平成26年8月19日



①森 義照 94歳
②5R-2Z観音寺LC
③昭和33年3月
④平成26年8月11日



①永野 貞一 97歳
②1R-3Z松山中央LC
③昭和39年11月
④平成26年8月8日



①丸山 裕生 87歳
②2R-2Z今治LC
③昭和48年4月
④平成26年8月3日



①井上 柳一 88歳
②3R-3Z宇和島中央LC
③昭和61年11月
④平成26年9月27日



①吉澤 唯男 66歳
②2R-1Z新居浜別子LC
③平成2年3月
④平成26年9月18日



①谷住 時夫 60歳
②4R-2Z高松東LC
③平成10年8月
④平成26年9月13日



①高岡 弘之 59歳
②1R-2Z松山道後LC
③平成23年4月
④平成26年9月12日



①新内 一 66歳
②1R-3Z松山中央LC
③平成22年9月
④平成26年9月4日

編集後記

会員皆様方のおかげで、第2号の地区誌を発行することができました。本年度は、表紙には「四国各県の民族芸能など」を、紙面では「女性ライオンズクラブの紹介」、「各クラブのアクティビティ紹介」等を掲載し、多くの会員皆様方に親しまれ、読んでいただける地区誌を目指して編集委員会一同がんばっています。

より良き地区誌にするためのご意見、ご要望等をキャビネット事務局までお寄せいただけたらと思います。

(E・U)

表紙写真「神楽四季草木図」

「いのの大国様」で知られる高知県の町、楢本神社に2010年に奉納された「神楽四季草木図」襷絵。描いたのは地元高知を拠点に活動する日本画家、中村達志。

「日本の神様は我々の身近にある草花や生き物に宿る」というイメージで四季折々の自然が計18面の襷にあらわされる。この春から夏の場面では桜の木を中心に50種類の植物や鳥などが与えられた生を謳歌している。タイトルの「神楽」はその生き物たちの生きる姿を神々が喜び楽しんでいるということである。使用されている材料は、神社近くを流れる清流「仁淀川」の水で育まれたコウゾを原料とした土佐和紙である。

中村達志

1967年 高知市生まれ。
1993年 東京芸術大学大学院日本画専攻修了
土佐市在住